

文化博物館だよりNo.72

みなさん、こんにちは。
「穀雨」が過ぎ、日増しに緑がいききと感じられる春になってきました。

1. 「竹久夢二の世界」講演会より

4月23日(土)14:00から、夢二郷土美術館統括マネージャーの小川晶子氏を迎え、「竹久夢二の世界」と題した講演会を開催しました。

まず小川先生は、全国の主要な夢二の美術館を紹介されました。今回作品をお借りした岡山の夢二郷土美術館を始め、群馬県の竹久夢二伊香保記念館、東京の竹久夢二美術館などがあり、それぞれ「立田姫」「黒船屋」「稲荷山」といった有名な作品が所蔵されています。



小川晶子 氏

次に兵庫県と夢二の関わりについてお話され、短い期間ながら神戸中学に在学し、異国情緒を感じ取ったこと、心のふるさととも言える室津への訪問などが紹介されました。

夢二の絵の魅力については、独学で絵を学んだ故の自在さによって時代に即応し、また日常生活と芸術を結びつけたことで、多くの人々に受け入れられたのではないかと分析されました。

後半はスライドでの作品投影とともに、当時夢二が詠んだ俳句が紹介され、作品だけでは分からない夢二の姿が、日常感や風情とともに伝わってきました。(白江隆太)

2. 明石昆虫探検隊の活動が始まりました！

同じく4月23日(土)9:00から15:00まで、明石昆虫探検隊の活動が始まりました。8月～9月にかけての企画展「昆虫大集合！明石と世界の昆虫たち」の先行イベントです。この探検隊で採集、標本作りしたものを昆虫展で展示する予定です。

朝9:00、虫捕り網と虫かごを持った子どもたちが、ぞくぞくと博物館に集合しました。まずは、虫を採集する上での注意事項をしっかりと聞き、公園に出発です。今回の探検隊は、明石市中学校理科教材研究開発グループの先生方に協力していただき、採集から標本作りまでを一貫して指導していただきます。今回は大久保北中学校の科学部の生徒も応援してくれました。



探検隊、出発ー。



虫の取り方指導



珍しいヒメクロオトシブミ



桜掘



トラフジジミチョウ



草笛にもトライ



虫を並べていきます。



チョウの展翅も見せてもらいました。

「虫大好きな」子どもたち、保護者の方も、先生たちも、歩くたびにいろいろと見つけてしまい、5メートル、10メートル進むのに時間がかかります。

薬研堀から桜掘、そして剛ノ池東側で採集して博物館に戻りました。途中では「クワガタ」の居場所もこっそりと教えてもらって、子どもたちも大満足の様子です。

大人の視線ではなかなか見つけられないものでも、子どもたちの視線の先の世界には様々なものが飛び込んでくるようです。

午後からは博物館に戻って、標本作りの実習をしました。ピンセットを使い、集中した子どもたちは、立派な昆虫博士に変身しそうですよ。

次回の探検隊は5月28日(土)9:00からです。興味のある先生方も参観されてはいかがでしょうか？

明石市立文化博物館

編集：永田浩史